

データサイエンス応用コース

実習環境設定

2021/03/11

大阪大学 特任准教授

shimokawa@sigmath.es.osaka-u.ac.jp

下川和郎

- A5SQL (SQL開発ツール)

- <https://a5m2.mmatsubara.com/>より

a5m2_2.15.4_x64.zip or a5m2_2.15.4_x86.zip をダウンロード

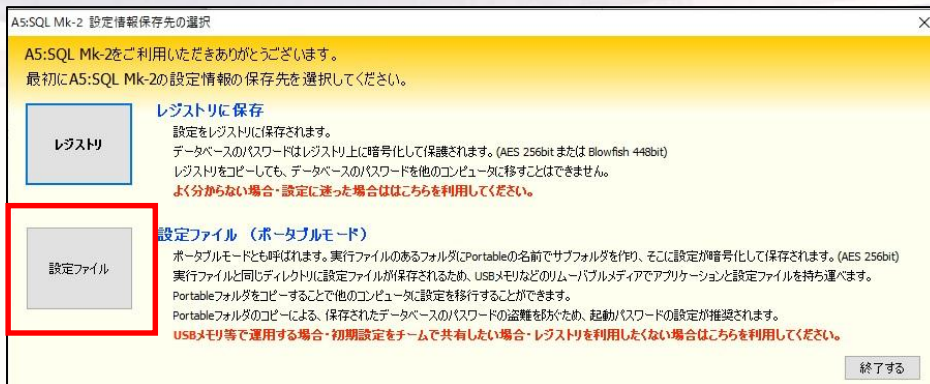
Ver 2.15 からは x64 版、x86 版共に SQLite 共有ライブラリが同梱された。

Zip アーカイブから取り出して
実行する。

名前	更新日時	種類
sample	2021/03/10 17:57	ファイル フォルダ
sampledb		ファイル フォルダ
scripts		ファイル フォルダ
A5M2.ENU	2021/01/17 9:41	ENU ファイル
A5M2.exe	2021/01/17 9:41	アプリケーション
build_info.txt	2021/01/17 9:41	テキスト ドキュメント
concr140.dll	2020/05/31 15:29	アプリケーション 拡張
history.txt	2021/01/17 9:41	テキスト ドキュメント
libbson-1.0.dll	2020/05/31 15:29	アプリケーション 拡張
libmongoc-1.0.dll	2020/05/31 15:29	アプリケーション 拡張
license.txt	2020/05/31 15:29	テキスト ドキュメント
license_en.txt	2020/05/31 15:29	テキスト ドキュメント
msvc140.dll	2020/05/31 15:29	アプリケーション 拡張
readme.txt	2020/09/20 14:24	テキスト ドキュメント
readme_en.txt	2020/09/20 14:24	テキスト ドキュメント
sqlite3.dll	2020/05/31 15:29	アプリケーション 拡張
TileServerList.txt	2020/06/28 14:13	テキスト ドキュメント
vcruntime140.dll	2020/05/31 15:29	アプリケーション 拡張
VirusCheck.txt	2021/01/17 9:41	テキスト ドキュメント

ダブルクリック

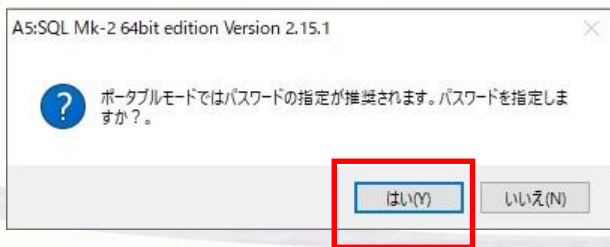
SQLite3 が入っている



どちらのモードでもよいが
こちらのモードを使えば設定ファイルがディレクトリ内
にできるため持ち運びしやすい。



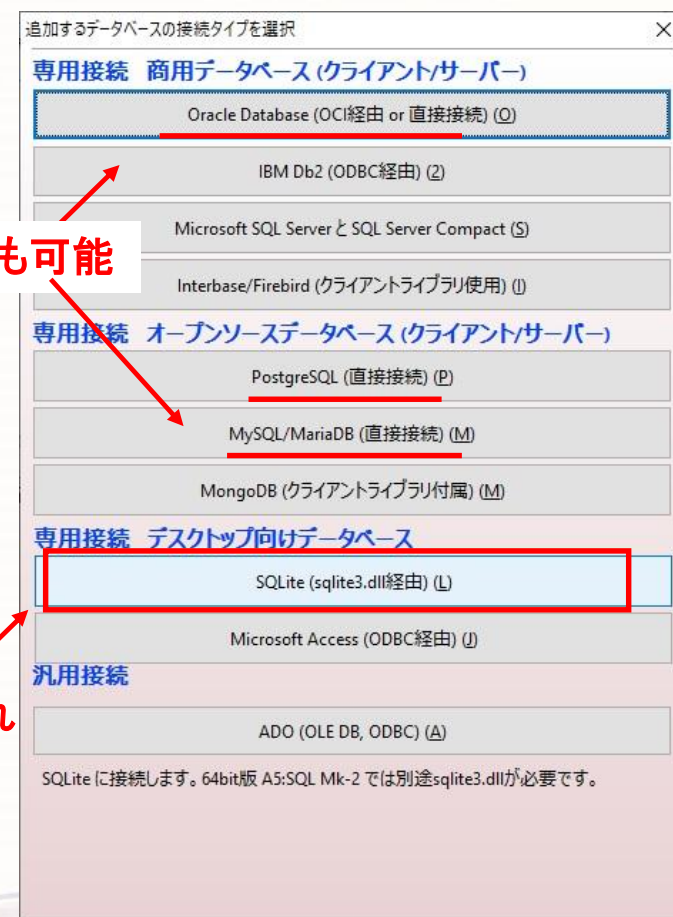
接続する DB を登録する。



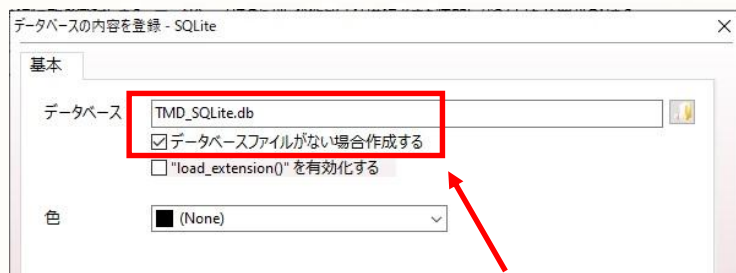
今回の実習ではどちらでもよい。
実行する際のセキュリティが担保される。



Oracle 等へ接続することも可能



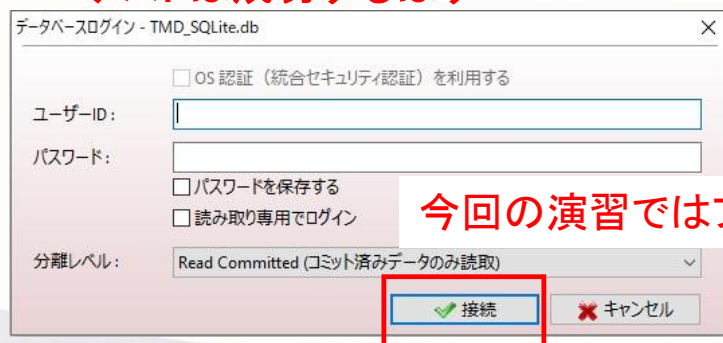
今回はこれ



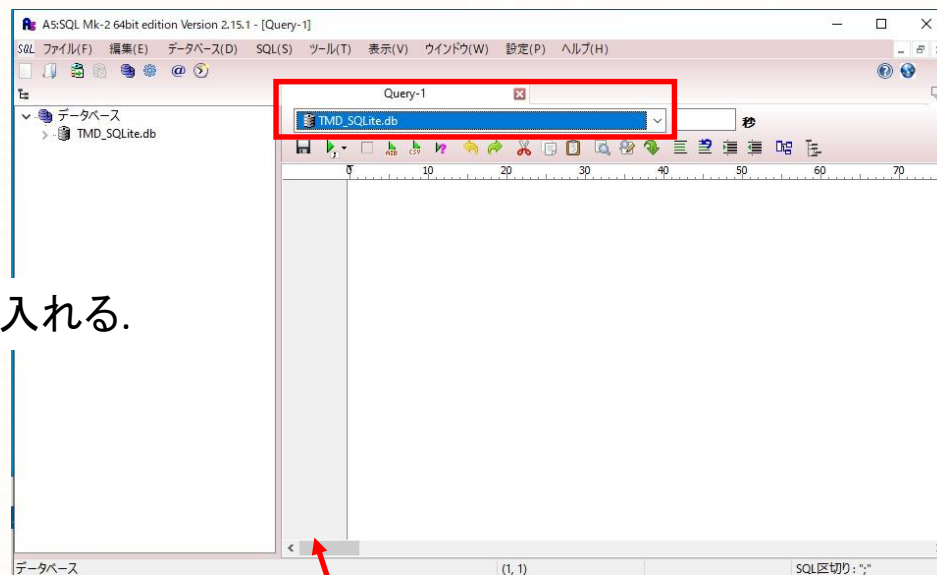
最初の起動ではファイルがないのでチェックを入れる。



テストは成功するはず。

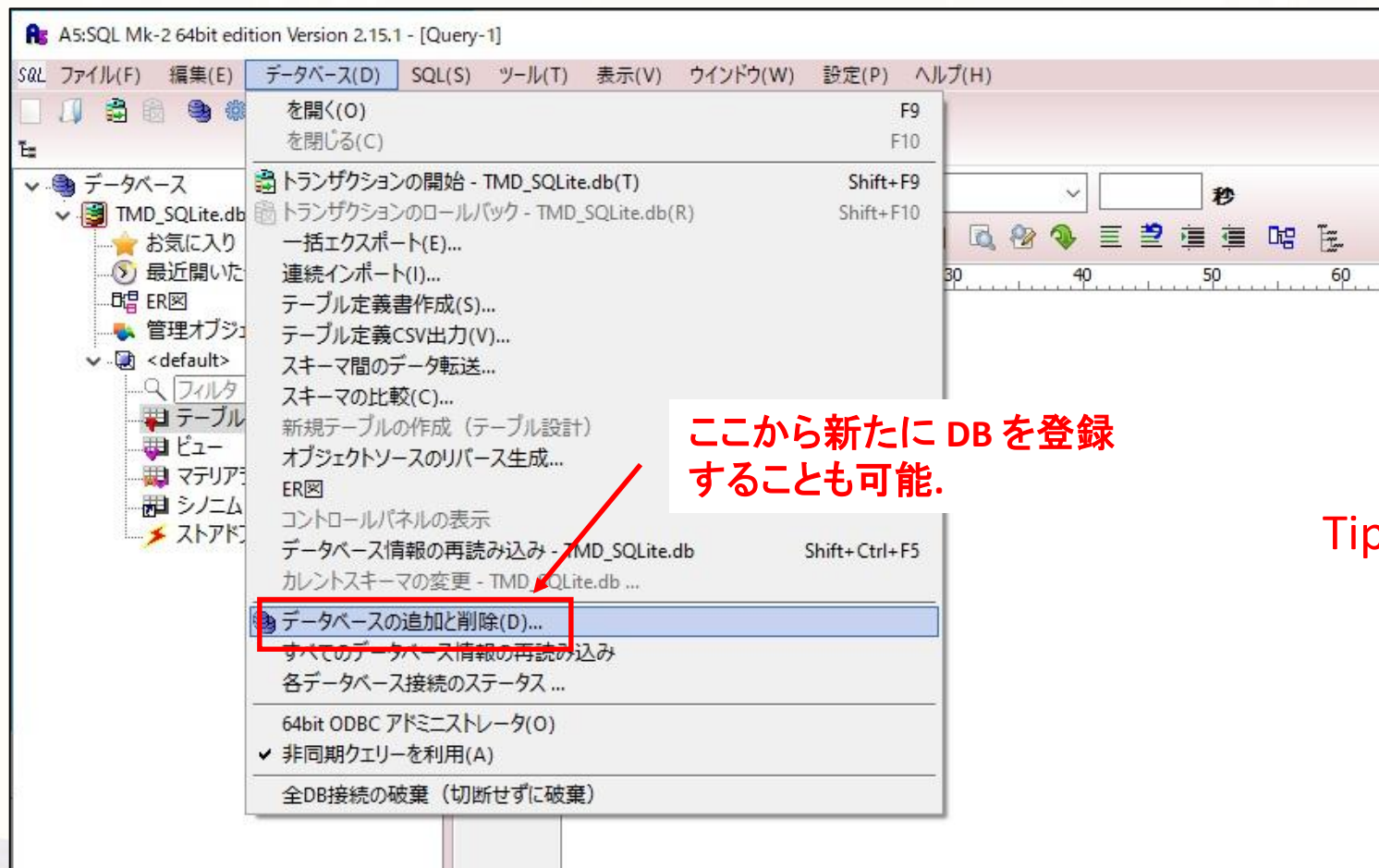


今回の演習ではblankでも可。

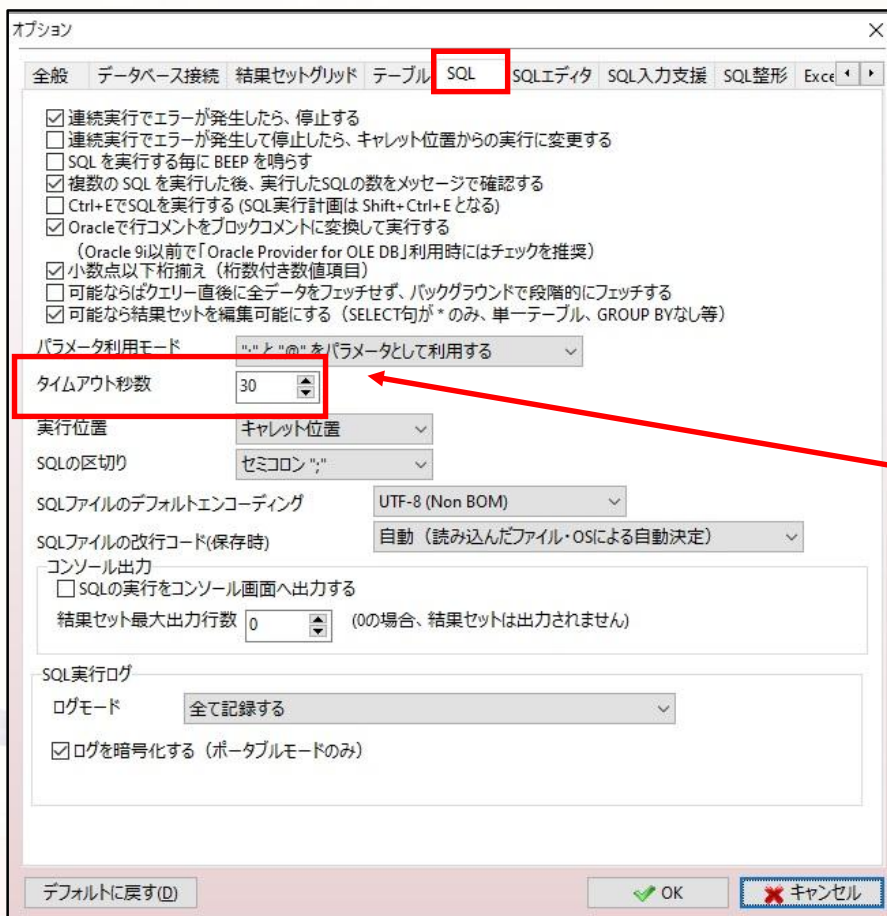


SQLコマンド実行の際は、対象DBファイルを選んで実行する。

実習環境としてはここまでできれば OK.



Tips 1.



Tips 2.

SQL コマンドの実行時間がかかる時は
これを大きくする必要がある。

オプション

全般 データベース接続 **結果セットグリッド** テーブル SQL SQLエディタ SQL入力支援 SQL整形 Excel

結果セット最大行数 10000

(結果セット最大行数は0を指定した場合、無制限となります)
(SQLで行数を指定するオプションが指定された場合この設定は無効化されることがあります。SQL ServerのTOP句・IBM Db2のFETCH FIRST n ROWS ONLY・MySQLのLIMIT句・PostgreSQLのLIMIT句)

☐ 1行ごと編集をサーバーへ反映せず、複数行の編集をまとめてサーバーへ反映する

Booleanの表示形式 チェックボックス

バイナリ項目の扱い 16進数表示

バイナリ項目のエンコーディング Shift_JIS (MS932)

奇数行と偶数行の色分け 薄い青

☒ 1行ペーストしたとき、変更を確定 (Post操作) する

☒ 切り取り操作のとき、確認メッセージを出す。

結果セットカラムの最大幅 (0の場合は無指定となります)

文字列型	40	数字型	34
日付・時刻型	20	その他の型	40

デフォルトに戻す(D) OK キャンセル

Tips 3.

SQL 実行結果、対象レコードが多くなる場合にはここを変える。
一部のデータを確認するだけなら不要だがすべての結果をダウンロードする場合等は必須となる設定項目。

0 で無制限。